

第84回地域保健福祉審議会 追加意見一覧

| | 資料番号 | 資料名 | ご質問・意見 | 回答 | 回答 とりまとめ所管 |
|---|------|--|---|---|--------------------|
| 1 | 資料1 | 地域保健医療福祉総合計画の策定に向けた検討状況について | <p>資料1の最後の研究会での意見について意見を申し上げます。</p> <p>地域包括ケアシステムにおける薬局の役割として、区民の薬や健康に関することはもちろんの事、患者やその家族からの相談や困りごとを然るべき機関に引き継ぐことも重要です。地域包括ケアシステムの原点は高齢者対応ですが、薬剤師会としてはこの中心が障害者や問題を抱える児童になってもこの部分は不変です。かかりつけ薬局を目指して業務していると、薬のこと以外の相談も多くあります。</p> <p>ワーディングで医療連携という言葉だけでよいのかという意見がございましたが、当然、三師会は地域包括ケアシステムを担う上で、介護・福祉のみならず多職種と連携しております。本日の資料にもあったように我々も基本は「だれ一人取り残さない世田谷区をつくろう」と考えております。</p> | <p>区では、地域包括ケアシステムの対象を高齢者のみではなく、障害者や子育て世帯など、対象を限らず推進しております。その地域包括ケアシステムを支える5つの要素として「医療」の役割は大変重要であると考えております。</p> <p>委員ご指摘のとおり、薬局の役割は「医療」の要素を支える以外にも、区民の相談や困りごとのつなぎ、多職種連携など「だれ一人取り残さない世田谷区」をつくるために、必要不可欠であると考えております。今後ともお力添えをお願いいたします。</p> | 保健福祉政策部 保健福祉政策課 |
| 2 | 資料3 | 次期せたがやノーマライゼーションプランー世田谷区障害施策推進計画ーの策定に向けた検討状況について | <p>障害施策に関して、身体障害、精神障害に比べて知的障害、発達障害の部分が薄いように感じます。外見からもわかりにくく、個人差が大きく、グレーゾーンの方も多。カテゴライズが難しいので具体的な施策を策定しづらいとは思いますが、</p> <p>スポーツの場の提供として身体障害者のパラリンピックスポーツの推進以外に、知的障害者のスペシャルオリンピックスやFIDなども考えてはいかがでしょうか。</p> <p>また、ピアサポーターのみならず、一般のサポーターの育成も考えてはいかがでしょうか。今回、追加で教育のカテゴリがシステムに追加されるようですが、世田谷区には多くの大学があります。その学生たちも人材資源として巻き込んではいかがでしょうか。ちなみに、砧地域の地域包括システムといっても過言ではないと思う「砧近所フォーラム」では成城大学の社会学の学生さんや日本大学の学生さんのボランティアが活躍していました。</p> <p>後半は、世田谷区に係る者としての意見になってしまいましたが、参考にいただければと考えます。</p> | <p>区では、「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」を基礎として、今後の施策展開について検討してまいります。知的障害向けのスポーツの取り組みや、大学と連携した区民サポーターの育成についてなど、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> | 障害施策部 障害施策推進課 |